

平成23年度 入学試験問題

国 語

九州国際大学附属中学校

【注意事項】

- 1 開始合図のチャイムが鳴るまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
- 2 開始合図のチャイムが鳴ったら、最初に解答用紙と問題用紙に受験番号・氏名を書きなさい。
- 3 試験時間は50分です。
- 4 解答はすべて、問題の指示にしたがって解答用紙に記入しなさい。
- 5 問題用紙で、印刷がはっきりしないところがあったら、静かに手をあげなさい。
- 6 答案ができあがっても、終了合図のチャイムが鳴るまで静かに着席していなさい。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

乾燥^{かんそう}②チタイで生きる植物は水不足に耐^たえるための仕組みを持たなくてはなりません。熱帯性植物のサボテンはちよつと見たところ葉っぱがないようにみえますが、後で述べるように葉は植物にとって大切なはたらきをする部分なので、葉っぱがないというわけにはいきません。じつはサボテン特有のどげは葉の変化したもので、肉の⑥アツい部分が茎^{くき}です。では、植物の葉が持っているはたらきをみてみます。第一は光合成です。葉の中にある葉緑体のはたらきで太陽光のエネルギーを利用し、二酸化炭素と水からでん粉や糖をつくります。

この光合成こそ植物の最大の特徴^{とくとう}で、地球上の生物の食糧^{しょくりょう}の源^{みなもと}となります。植物がでん粉や糖をつくる。その植物を草食動物が食べ、草食動物を肉食動物が食べ、……という具合に食糧^{しょくりょう}でつながっていきます。

A 葉は光合成の際に酸素を出します。これが地球上の酸素の重要な③キョウキユウ源^{げん}になって、酸素を必要とする動物を生かしてくれているのです。私たち人間は、酸素も食物も植物のおかげをこうむっている……**B** 緑を大切にすることは、自分たちのためでもあるのです。

葉の第二のはたらきは水分を蒸発させることです。これを葉の蒸散作用^{じょうさん}といいます。植物にとってこれは生理作用ですが、一方で大気中に水蒸気を送り出す水の循環^{じゆんかん}に大きな④ヤクワリを果たしています。第三のはたらきは呼吸作用。これはガス交換^{こうかん}で、植物もここでは酸素を取り入れ二酸化炭素を出しています。

葉は主にこの三つのはたらきをしています。このようにはたらきを効率よくするために、葉はできるだけ表面積を広くしたいのが普通^{ふつう}です。**C**、葉がたくさんあってしかも一枚一枚の表面積が広いと、光合成には都合がいいけれども、葉から水分がどんどん出ていってしまいます。サボテンのように乾燥チタイにいる植物の場合、①それでは困るので②できるだけ表面積を「小さくしよう、小さくしよう」とした結果、あのようなどげになってしまったのです。

茎のほうは可能なだけアツくなって、中には水分を貯^{たくわ}え、減^{へちま}多^たなことではしおれないようにできています。それに茎のまわりにトゲがあれば、動物も近^{ちか}よりがたく身を守りやすいという③□点^{てん}もあります。その上、目に見えない地下では、根をがちりと張^はって土の中の水分をくまなく逃^にがさないで④キユウシュウでできるようになっています。

D 砂漠は雨が降らないことがある。何しろ乾燥チタイでは何年も雨が降らないこともあるのです。これではいくら根をはっても苦しい。そこで根からは水分をキュウシュウしなくても、空気中にあるわずかな水分をとらえて、それで生き抜^ぬく仕組みをもつ植物もあります。

それぞれ自分の住む環境に合わせようとする努力は④涙^{なみだ}ぐましいものがあります。

(中村桂子『子供の「なぜ」に答える本』より)

問一 ———— a) e) のカタカナを漢字に直しなさい。

問二

A

D

 に当てはまる最も適当な言葉を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア また イ なぜなら ウ しかし エ それでも オ つまり

問三 ———— ①「それでは困る」とありますが、「それ」とは具体的にどのようなことを指していますか。本文中の言葉を使って、「こと」に続くように十八字で答えなさい。

問四 ———— ②「できるだけ表面積を『小さくしよう、小さくしよう』とした結果、あのようなどげになってしまった」とありますが、乾燥チタイで葉をとげへと変化させたのは、どんな仕組みを持たなければならなかったからですか。本文中から十三字で書き抜きなさい。

問五 ———— ③「□点」とは「よい点・すぐれた点」という意味の熟語です。□に当てはまる漢字一字を答えなさい。

問六 ———— ④「涙ぐましいものがあります」とありますが、何のために「涙ぐましい努力」をするのですか。その答えとなる言葉を、「くため」に続くように、本文中から四字で書き抜きなさい。

問七 本文の内容と合うものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア サポテンは空気中のわずかな水分をとらえるため、地中につちり根を張っている。
- イ 葉のもつ光合成というはたらきによって、多くの動物が生かされているといえる。
- ウ 多くの水分をたくわえているサポテンの茎では、さかんに光合成が行われている。
- エ 雨が何年も降らないようなとき、植物は水分をとらえるため葉を広げようとする。

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(なお、途中省略している部分があります。)

かのこちゃんがプールですずちゃんへの告白を受けた二日後、先生からクラスみんなに向かって、

「突然のお知らせですが、すずちゃんが転校することになりました」

という正式な発表があった。いっせいに湧き上がったざわめきの向こうに、

「お父さんの仕事の都合で、すずちゃんは海外の学校に行きます。とても残念なことだけど、今月いっぱいでお別れになるので、みなさんはすずちゃんとたくさん思い出を作ってください」

という声が響くのを、かのこちゃんは蒼白な表情で聞いた。
顔色が青ざめて見えるようす

その日以来、すずちゃんとの間に、①見えない硬質な空気が激のように漂うようになった。まるで一学期のはじめ、出会った頃に逆戻りしたかのように、話していてもどこかぎこちない気配が二人の間にわだかまった。ときにすずちゃんは、②明らかに二人だけで話すことを避ける素振りさえ見せた。それでも、かのこちゃんが③すずちゃんを誤解することは、もうなかった。話すことがかえって悲しい気

ある状態をいっそう発展させること

持ちを助長させてしまうから、と相手の胸の内を正確に理解した。だが、何事も時間がいずれ解決するものであったとしても、かのこちゃんには時間そのものがなかった。限りある残された日数を思い、かのこちゃんはここに、④すずちゃんとともに乗り越えるべき試練があると感じた。

かのこちゃんが飼っている犬の名前

お父さんが玄三郎を病院に連れて行った⑤翌日の月曜日、かのこちゃんはすずちゃんに手紙を書いた。

「こんどの日曜日、じんじやのおまつりであいましょう。」

生まれてはじめて、自分の意志で書いた手紙だ。せっかくなので、ここはちゃんと封筒に入れて手渡したい。お母さんに相談すると、じゃあ、明日夕飯の買い物ついでに封筒も買ってきてあげる、という運びになった。

翌日学校から戻ると、お母さんがかわいらしい封筒を用意してくれていた。かのこちゃんはさっそく手紙を封筒に入れ、ランドセルに忍ばせた。

しかし、かのこちゃんの手紙がすずちゃんの手元に届くことはなかった。

というのも、次の日にすずちゃんが急な風邪で学校を休んでしまったからである。しかも間の悪いことに、新しい週に入ったと思った

ら、すぐさま秋の連休が始まった。おかげで、お祭りのある週末まで、学校そのものがなくなってしまった。

あれこれと気をもんでいららする様子

やきもきした気持ちを持続させたまま、かのこちゃんは日曜日を迎えた。先週に続き、お父さんが玄三郎を病院に連れて行っている間に、お母さんに浴衣の着付けをしてもらった。ついでに頭のとっぺんに、かわいらしいおだんごも作ってもらった。

「せっかく、お手紙書いたのに」

準備を終えたかのこちゃんは、縁側に腰かけ、下駄をひっかけた足を交互に振りながら、ほんの一日のタイミングの遅れを呪った。それならそれで、いつそすずちゃんの家を訪問したらよかったのかもしれないが、そんなことをしたら嫌がられはしまいか、などと妙な遠慮が働き、結局、**無為に**過ごしたことを今さらながら悔んだ。

「ああ——今日、すずちゃんもお祭りにきてくれたらいいんだけど」

かのこちゃんが飼っているネコの名前

と**◎気弱**につぶやき、かのこちゃんは隣で寝そべっている**マドレーヌ**の脇腹をくすぐった。先ほどから、かのこちゃんの**愚痴めいた後悔**の言葉を、マドレーヌは顔を洗いながら * 聞いている。相手をする気分にならないのか、マドレーヌは縁側からさっさと飛び下りると、室外機に場所を移し、大きくあくびして丸くなった。

日が暮れる頃になって、ようやくお父さんが病院から戻ってきた。

「やっぱり体力的に**④手術**は難しいみたい」

お父さんは重いため息とともに、玄三郎を抱えて玄関のドアを閉めた。

「何かあったときに心配だから、しばらく玄三郎を家のなかに入れてあげないかい？」

腕の中の玄三郎をのぞきこんで提案するお父さんに、

「そうね、それがいいかもしれない」

そば。となり。

いきおいのはげしい様子

とお母さんが**⑤賛同**する傍らで、**⑤**かのこちゃんは**猛然**と浴衣の袖を振りかざし、反対を表明した。

「駄目だよ。それだとマドレーヌがさびしがらるじゃない。玄三郎とマドレーヌは夫婦なんだから。きっと玄三郎だってさびしがらるよ」

「え、そうなのかい？」

「そうだよ、知らなかったの？」

うん、知らなかった、と素直に認めるお父さんの腰を後ろからぐいと押し、かのこちゃんは犬小屋に向かった。すると、この時間はたいていどこかへ行つて姿が見えないマドレーヌが、まるで待ち構えていたかのように小屋の横で座っていた。

「本当だ。奥さんみたいだね」

「みたいじゃなくて、本当に奥さんだよ」

お父さんは笑つて、「わかつたよ」と腕の中の玄三郎をそつと地面に置いた。遅れてお母さんが持ってきた新しい毛布を犬小屋のなかに敷き、

「何かあつたら呼ぶんだよ」

腰を^か屈め、あばら骨の浮いた玄三郎の脇腹をさすつた。少し離れた場所から、人間の動きをじつと見つめているマドレーヌに、「じゃあ、玄三郎を頼むよ」と声をかけ、お父さんは立ち上がった。

「お祭りに行こう。⑥玄三郎のことをお願いしに行こう」

家に帰ったときから、どことなく悲しそうなお父さんの様子に、ひよつとしたらお祭りに行つてくれないかもしれない、と密かに心配していたかのこちゃんは、その言葉に「ウン！」と大きな声を上げて、玄関のげた箱の上に置いた巾着袋を取りに戻つた。

(万城目学『かのこちゃんとマドレーヌ夫人』より)

問一 ————— ㉞㉟の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

問二 ————— ①「見えない硬質な空気」とありますが、これとほぼ同じ意味を表している表現を本文中から十字で探し、書き抜きなさい。

問三 ————— ②「明らかに」という言葉を使って、短い文を作りなさい。なお、「明らかだ」など形を変えてもかまいません。

問四 ————— ③「すずちゃんを誤解する」とありますが、具体的には「かのこちゃん」がどのように思うことだと考えられますか。その

内容として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア すずちゃんが転校するというのは、うそなのではないかと思うこと。

イ すずちゃんは、転校することを悲しんでいるのではないかと思うこと。

ウ すずちゃんは、どこか体の具合がよくないのではないかと思うこと。

エ すずちゃんは、私のことをきらっているのではないかと思うこと。

問五

——④「すずちゃんとともに乗り越えるべき試練がある」とありますが、「乗り越えるべき試練」とはどのようなことを指していますか。その内容を示した次の文の空らんには当てはまる表現を、1 は九字、2 は三字で本文中からそれぞれ書き抜きなさい。

1 によって、おたがいに納得した上でのきちんとした 2 をすること。

問六

* に入る最も適当な表現を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 悲しそうに イ 興味ぶかげに ウ 関心なさそうに エ 真剣に

問七

——⑤「かのこちゃんは猛然と浴衣の袖を振りかざし、反対を表明した」とありますが、このときの「かのこちゃん」の様子として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 玄三郎のことについて、お父さんが自分の意見をまったく聞いてくれないということに腹を立てていた。

イ 玄三郎を家に入れてしまうことで、マドレーヌと玄三郎にさびしい思いをさせてはいけなさと必死だった。

ウ 玄三郎とマドレーヌが間違はなく夫婦であることを証明する、とてもよいアイデアを思いついて興奮していた。

エ このままでは楽しみにしていたお祭りに行けないかもしれないので、何とかお父さんの気をひこうとした。

問八

——⑥「玄三郎のことをお願いしに行こう」とありますが、「お父さん」は神社でどのようなお願いをしたと考えられますか。その内容がよくわかるように答えなさい。

問九

この文章は大きく分けると二つの場面から成り立っています。場面が展開する文には、時間の経過がわかる表現があります。その文の最初の五字を書き抜きなさい。

三 以下の各問いに答えなさい。

問一 それぞれの [] に共通する漢字を一字入れて、熟語を完成させなさい。(二つ以上思いついても、一つだけ書きなさい。)

- ① [] 力 [] 完 [] 力 []
 [] 気 [] 年 [] 分 [] 力 []
 [] 車 [] 島 [] 体 [] 業
- ② [] 年 [] 分 [] 完 [] 力 []
 [] 島 [] 年 [] 分 [] 完 [] 力 []
- ③ [] 力 [] 完 [] 力 []
 [] 体 [] 力 [] 完 [] 力 []
- ④ [] 力 [] 完 [] 力 []
 [] 業 [] 品 [] 完 [] 力 []

問二 以下の言葉は慣用句です。それぞれの [] に共通する体の一部を表す漢字を答えなさい。

- ① [] を貸す。
 [] にたこができる。
 [] をかたむける。
- ② [] が痛む。
 [] がおどる。
 [] を打つ。
- ③ [] がかかる。
 [] に入る。
 [] を焼く。

問三 次の [] に動物の名前を入れて、ことわざを完成させなさい。(ひらがなでよい。)

- ① 「立つ [] あとをにごさず」というから、使った部屋はきれいにしてから帰ろう。
- ② あのプロ野球選手がエラーをしたらしい。「 [] も木から落ちる」だね。
- ③ 母が作ったオムレツは、味も見た目もすばらしく、私が作ったものとは「月と [] 」だ。

